

心の和がれ No.47

(2014/3～4)

p 01～01	余暇を楽しむには	p 03～03	約束は活力が湧く
p 01～01	苦と楽	p 03～03	町内会の総会
p 02～02	家庭教育の重要性	p 03～04	HPリニューアル
p 02～02	卒園・卒業式に参列	p 04～04	気分転換
p 02～03	黄金が輝く季節		

2014.03.02

・余暇を楽しむには

三寒四温、3月に入って気温が急上昇、筍堀のニュースが流れていたが、又気温が下がるそうだ。「脱ぎ捨ててひとふし見せよ 竹の皮」蕪村。間もなく旬の筍が味わえそうです。寒さも我慢して待つとしましょう。◆老人会も来年度の行事計画を立案中です。体操、手芸、パソコン、スポーツ、映画、旅行、見守り etc.。あれもこれもと思いは馳せるが、会員の平均年齢は75.5歳。屋内に引き籠らず、日々のライフスタイルを、体力に合わせて充実した余暇を明るく元気に楽しみ、リフレッシュする豊かな私生活を過ごしていただくための計画だが、行事に参加しやすい方策も一考である◆高邁な理想を掲げることはたやすい。だが、言葉だけでは、人は後に続かない。自ら動き、範を示し「率先躬行」が人の信頼を引き出す。先輩の姿に学びどこまでも「努力の人」でありたい。

2014.03.09

・苦と楽

昨日は月に一回の老人会主催の映画会が終了。今日は民生児童委員会が主催する映画会が幼稚園で開催された。将来を担う子どもたち30数名が集った。マンガと短編の4作品、人との絆や防犯に関するもので幼子も熱心に鑑賞していた。◆子どもたちの成長に欠かせないのが地域住民の関与である。子育ての悩みなど、家族が抱える課題は多い。だが、「苦」と「楽」は表裏一体。幸福とは、苦難がないことではなく。苦難に負けないことである。負けないためにも多くの人の援助がいる。私たちは、知らず知らずのうちに周りの人の恩恵にあずかっていることを、実感することの出来る自分でなければならない。

2014.03.16

・家庭教育の重要性

木の芽もほころび梅の花が咲き乱れ、観梅より実の収穫に適した真っ白な花が「椿壽庭」に彩りと香りを漂わしてくれている。特にお隣の梅花は濃いピンクをなし梅干しの美味たる味が忘れられない。週明けには幼稚園と小学校の卒園卒業式に参列する。例年の事だが子どもたちの巣立つ姿は実に晴れやかで明日への躍動を感じる。◆春夏冬の休園・学がある、子どもたちにとっては楽しみであり、また地域の人々と交流して学びえる大切な時機である。それを休みは保護者にとって”うるさく、手間のかかる”と語る身勝手な親もいる。子供にとって家庭が最良の教育の場であろう。「家庭よ、汝は道徳上の学校なり」とスイスの教育者ペスタロッチの言にある。道徳教育の重要性を認識し、家庭の健全を訴え人間教育の基本は家庭にあると強調している。◆「子どもは親や大人の言うことを聞くのが当たり前」と、いつしか傲慢になり、子を思うあまり口うるさくなってまいいか。そんな自分を猛省。気付くと、いつしか少しづつ子どもと自然な会話ができるもの。そして子どもは真っ白なキャンパスのようなもの、子どもがどのような絵を描くのか、家庭ではおおいにその手助けにならなければならないと思う。子どもたちを愛そう。子ども達と笑顔で接しよう。子ども達の一番の理解者になろう。

2014.03.23

・卒園・卒業式に参列

18・20日に幼稚園の園児55名、小学生は130名で晴れやかに修了証書・卒業証書を授与された。園児の将来の夢は警察官、ケーキ屋さん、サッカー選手など地域の防犯に携わっている「おまわりさん」の笑顔の親近感が子どもの心に宿る。”お母さんのおやつ”にケーキが母と子の絆が覗える「子供の将来の運命は、その母の努力によって定まる」とナポレオンの言にあるように、子ども然り誰でも才能が芽吹き成長する大地を、自分の中に持っている、母の笑顔と褒める言葉の重要性を再確認して率先垂範を心掛けたい。それにスポーツで関心の深いサッカーは毎年トップ、女の子でサッカー選手になると大きな声で宣言するのに、参列者一同が”オ～”との声が式場を揺るがす。将来を担う子どもたち夢に向かって羽ばたいている姿に接し、地域住民がおおいに手助けして行かねばならない。

2014.03.30

・黄金が輝く季節

山や公園そして家庭の桜が7部咲きである。雨天であるが公園にはカラフルな雨傘も風景に溶け込んだ感があり、雨の中の桜花見物も心が和む。何ととっても町中が明るい。光が噴き出しているようなユキヤナギ、黄金色に輝くレンギョウ「レンギョウの 下くぐるとき 顔が黄色に」松井百枝-

句。黄色の小花が可憐な黄梅、サンシュユ。花々が、春の到来を告げている。◆2歳ぐらいだろう幼児が「菜の花」を一輪笑顔で差し出す。まさにエンジェルの笑顔が武骨な私の心を癒してくれる。それは親の心が子どもに伝わり「他者を思う心」の発露でしょう。花に託された人の心を感じる時、私たちの心も弾む。目に見えるものだけで判断するのではなく、目には見えないが、そこに輝く「心」を見ると、感謝の心は一段と深まっていくんです。雨の散歩も また 楽しからずや。

2014.04.06

・ 約束は活力が湧く

5日には町内にある「猿田彦神社」で老人会のお花見会を開催しました。4日には強風が吹き乱れ心配でしたが、早朝から晴天に恵まれ40名参加で和やかに桜花を笠にして歓談に「会話の花」も咲きました。高齢者が一堂に集まり会話することは「苦しみは語ることで萎み・喜びは話すことで膨らむ」が如く、多くの人と出会い語り合うことが健康維持の必要でしょう。◆初めて行事に参加された男性が「こんなに楽しいとは思わなかった」と次回から行事に誘ってください。仲間が増えることは我が毎のごとく嬉しい。「互いに100歳まで皆さんと交流しましょう」と約束。◆「約束」は、健康であることの明確な目標となり、強い決意を生む。約束したからには、成し遂げようとする知恵と活力が湧く。その姿が、よき模範となり、人の心を動かす。さあ！100歳に向かって頑張ろう。◆追伸：今日は八幡宮の境内で「やわた四季の詩」の組曲で、春の部の踊りと歌「流れ橋の歌」。そして秋の部の錫杖を携え稔りを踊ります。12人中で男性は拙生ひとり、100歳まで25年しかありません約束を守るためにも頑張ってきます。

2014.04.13

・ 町内会の総会

総会に出席しました。世帯数801 人口2,442（男1,237 人女1,205）活動報告&予算などで議事もスムーズに運び終了しました。地域の活性化を図り”向こう三軒両隣””隣三尺”良き昔の住民の絆が遠のきつつある現代、理解し助け合う姿勢を掲げて町内活動に勤しむ役員の協調性が町を豊かにする。◆自分が仲間を信じる。仲間も意気に感じて全力を尽くす。この強い絆があればこそ、多難な問題や目標もやり遂げることができるし、強固な信頼の絆があれば、人は大きな力を発揮するものであろう。役員ともども住民も昔の絆を取り戻し、この町に住んで良かった。と言える町づくりに努力を積み上げよう。

2014.04.20

・ HPリニューアル

八幡市シルバー人材センターのHPをリニューアルしてきました。約10年ぶりです、”素人の手作り”プロには足元にも及びません。レイアウトや内容表示にもダサイところも多くある。高度に制作された多種多様なHPの中であって”ド素人”作品に暖かみを感じていただけたら嬉しい。ア

アップして初めてレイアウトの不備が判り、徐々に修正していく予定です。◆齢75の手作りページ、若い方の心は掴めないでしょうが、せめて高齢者には日々の活動が健康を左右します。家の中でエンジンを休めず、体力に合わせ屋外でエンジンをフル回転すれば余暇に新たな発見が、人材センター活動に興味をもっていただければ、この上ない喜びです。

2014.04.27

・気分転換

シルバー人材センターのHPリニューアルしましたが、契約容量がオーバーしており今後の情報発信を考え増量を申請、5月1日に更新なのでアップの修正ができておらず、文字のずれなど不備な点が気にかかる。◆26日(土)には所属の老人会の総会も済んで一段落であるが、高齢者が体力に合わせた充実した余暇を過ごして頂くための企画を「出来る人が 出来る事を 出来る時に」全員で取り組んだ行きます。少ない予算ながら役員一同”隣三尺”絆を編むのに懸命である。◆桜のソメイヨシノは散ったが、山桜が美しく可憐な花びらと葉のコントラストが清々しい気持ちをもたらしてくれる。山野は今、青葉若葉が輝き満ちている”さぁ～出かけよう 健康のために”

2014.03.～2014.04

E N D